

地域で取り組む これからのACP

～ゲームを活用して～



医療法人 士正会

栄エンゼルクリニック 副院長 中村 了

CULTURALLY ADAPTED CONSENSUS DEFINITION AND ACTION GUIDELINE: JAPAN'S ADVANCE CARE PLANNING

【結果】29項目が目標コンセンサスレベルを達成し、72%～96%の項目が7～9の評価を得た。ACPは、“個人が、信頼関係を築いた医療者から必要に応じてサポートを受けながら、家族や身近な人々と、将来どのような生き方をしたいか、どのような医療やケアを受けたいかなど、将来への備えについて考え、話し合うこと”と定義された。この定義・行動指針には、意見表明をためらう人が将来への準備を進め、表明するための支援が具体的に含まれていた。

【結論】個人の自律的意思決定を意識的に強化・支援することで、ACPを日本文化に適応させることは、日本や家族中心の意思決定文化を持つ他の社会での普及・定着を促進する可能性がある。

ACP の 論点 (私の個人的感想とともに)

【導入時期】

- ・ 入院時は、本人がしんどいので、本人の意思を反映しにくい
- ・ 訪問診療開始時では遅い人が多い
- ・ 外来通院診療時以前(健診にて異常指摘時など?)が望ましいが、モチベーションを持たせるのに難渋する

【対象】

- ・ 対象となりうるのは、どのようなセッティングであっても、全員
- ・ 導入に後ろ向きの人たちに、むり強いは禁物

【内容】

- ・ 内容が細かすぎると、ACPそのものに嫌気がさす
- ・ 内容が大雑把すぎると、イベント発生時に初めての確認事項が増える



気軽なきっかけ & 多岐にわたる内容

人生100年これからゲーム 誕生生物語

～ ゲームなら 気軽に 多くの内容に対応可能！ ～

2020年11月30日”良い(11)看取り(30)の日“に発売



人生の最期に大切なことは？



2年をかけて
医師/看護師等が、534名の高齢者/ご家族等と一緒に考えた！

人生100年 これから ゲーム

カードは52種類



人生の最期に大切なことは？ 考え・伝え・共にする！

人生の終末になると自分が望んだ治療や生活を送ることが難しくなっていきます。だからこそ、今から自分の希望を考え、医師や家族等に伝え、想いを共にすることが大切です。このゲームは、全ての方の「これから」を応援します。

わたしたちが考えました！

 福心会渡辺病院 医師 中村了	 愛知県立病院総合 ステーションさすな 看護師 渡辺和子	 国立高齢者総合研究 センター緩和ケア診療部 医師 西川潤朗	 伏見区医師会和歌ひ 介護支援専門員 大城敦子	 福心会渡辺病院 緩和科 平松明哉	 常務理事 原田博子	 福心会渡辺病院 理学療法士 櫻井英正
--	--	--	---	--	--	--

4分野（医療/生活ケア/人間関係/価値感）の
各13個の大切なことをアンケートを参考にカードにしました！

534名の高齢者やご利用者ご家族に
アンケートを実施！

人生100年これからゲーム プレイ方法

トランプとしてもプレイできます！
プレイ方法は無限大！

みんなで！



- カードを1人4枚づつ配布する
- 100歳の自分に大切なことを考える
- 山から1枚とらなさいカード1枚を捨てる
- 山がなくなるまでプレイ
- 最後まで残ったカードを順番に説明する

おひとり！



- 字が見えない方の上に山にして5枚とる
- 100歳の自分に大切なことを考える
- よく読み1枚を捨てて4枚を捨てる
- この枚を山に戻し直してプレイ
- 選んだ5枚のカードを自分で説明する

医療/介護従事者と！



患者さんやご利用者と一緒にカードを使って楽しみながら気軽に何でもプレイしてみてください。人生の最期を一緒に考え伝え共にすることができます。

商品内容

医療・生活ケア・人間関係・価値感の4分野各13枚と、ジョーカー2枚の計54枚入り。トランプとしてもプレイできます！

カードサイズ	86×60mm
価格	¥2,500(税込)



お買い求め方法

①自治体・法人・団体等でご購入の場合
日本アクティビティ協会 HPの「お問い合わせ」から詳細に必要事項（〒、ご住所・ご注文数）を記入の上お返して下さい。※お見積り作成も可能



②個人でご購入の場合
QRコードから購入して下さい。



発売元：株式会社ブレイクア <http://www.jp-activity.jp/> info@jp-activity.jp TEL0120-615-610（平日12時～14時）

中日新聞に掲載

2020年12月1日

東海3県 まん延防止

追悼 海部俊樹回想録(再録)

新型コロナ

ニュース

話題・深掘り

地元なび

地方版全紙面

投稿

プレゼント

🏠 > 医療 > 医療ニュース

ゲームで考える高齢期

2020年12月1日 05時00分 (12月1日 11時44分更新)

人生終盤に大切にしたい価値観は？ 親が認知症になったら？ 「老いと死」を自分のこととして考えるためのゲームを、愛知県内のグループが相次いで作った。国は、終末期に受けたい医療やケアについて事前に話し合う「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」の普及を進めるが、広がっていない。「縁起でもない」というハードルを、ゲームの楽しさで飛び越えることを目指す。（編集委員・安藤明夫）

「大切な価値観」カード選択 愛知県内で製作



一つは、超高齢社会の生き方を考える「人生100年これからゲーム」。十一月三十日の「いいみとりの日」に発売された。美浜町の渡辺病院、常滑市民病院など知多地域の医療や看護関係者らが、地元の高齢者五百三十四人へのアンケートを基に製作。高齢者のレクリエーションを手掛ける「プレイケア」（東京）が協力した。

五十二枚のカードを医療、生活ケア、人間関係、その他の価値観という四分野、十三枚ずつに色分け。カードにはそれぞれ、人生百年を全うするために大事にしたいことが書かれ、一～十三の番号はアンケートの人気順を示す。医療の一位は「痛みや苦しみがなくなるといい」、生活ケアは「トイレ・排

人生100年これからゲーム データ解析結果

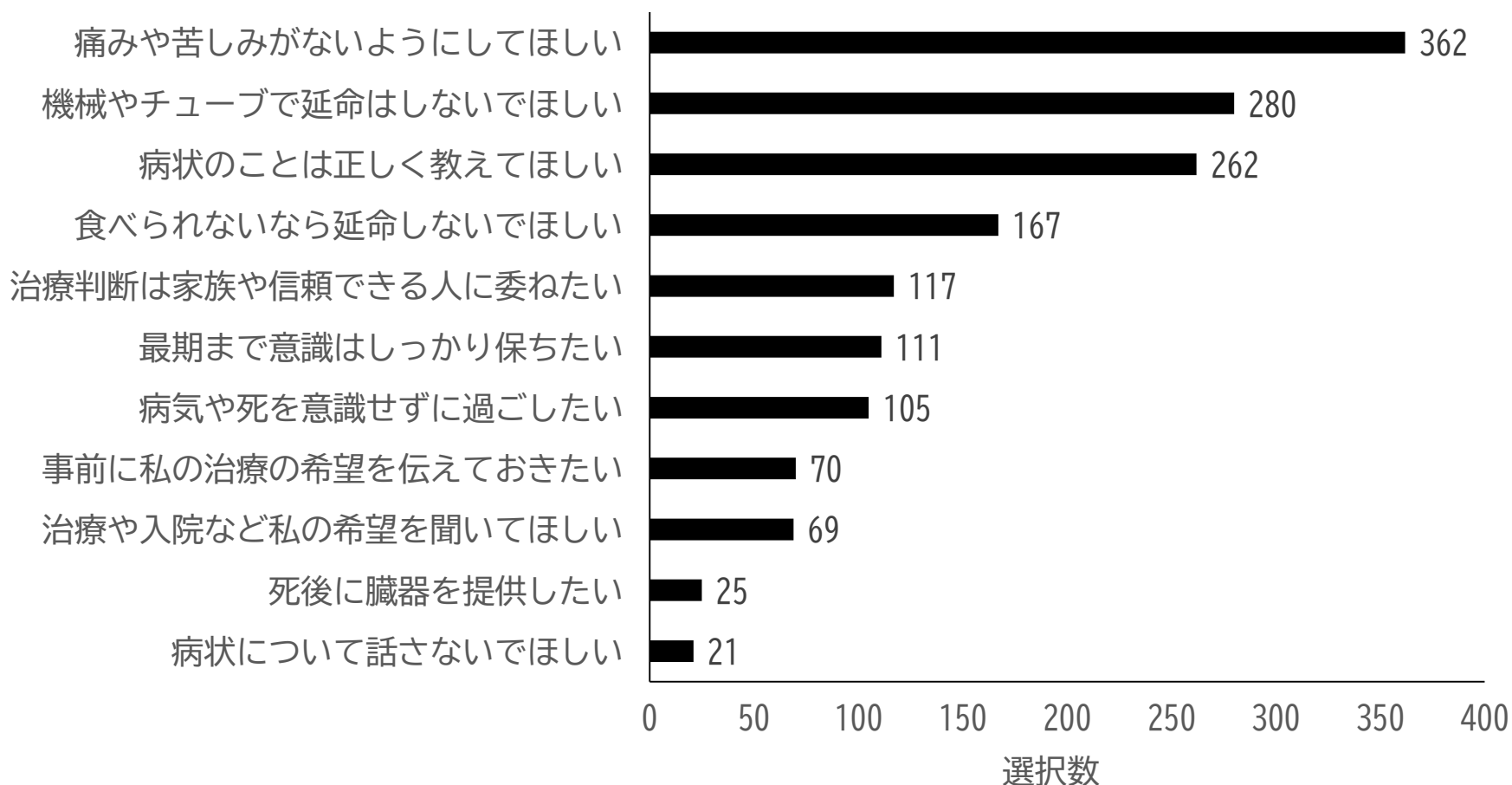
～日本人のA C P特性が見えてくる～

End-of-Life Preference Lists as an Advance Care Planning Tool for Japanese People

Hidemasa Iki, PT, Akira Nakamura, MD, Kazuko Watanabe, RN, Hiroko Harada, RN,
Kyoko Oshiro, CCW, Akinori Hiramatsu, Pharm D, and Mitsunori Nishikawa, MD

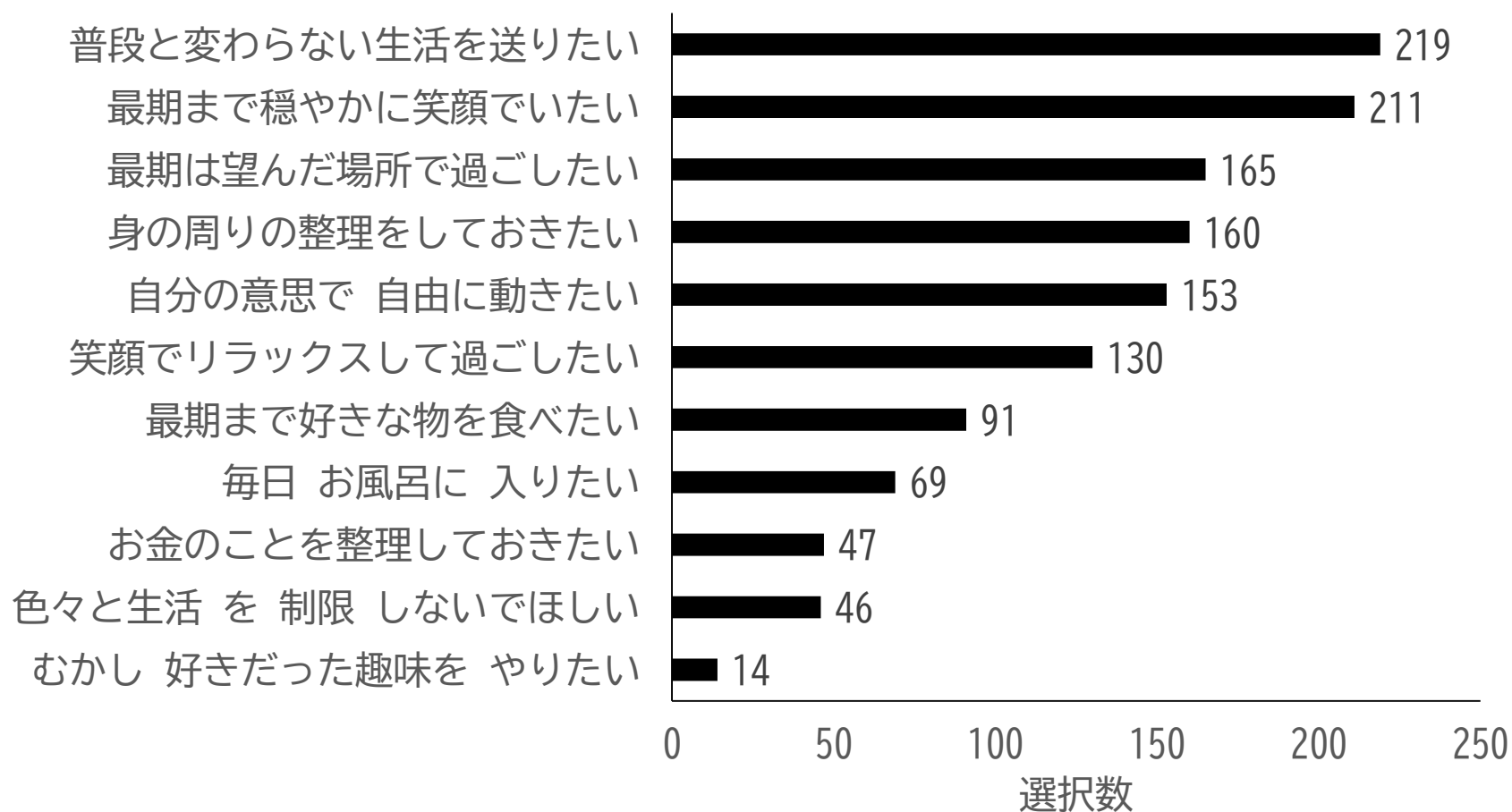
結果

● 領域ごとの終末期に優先される項目(医療)



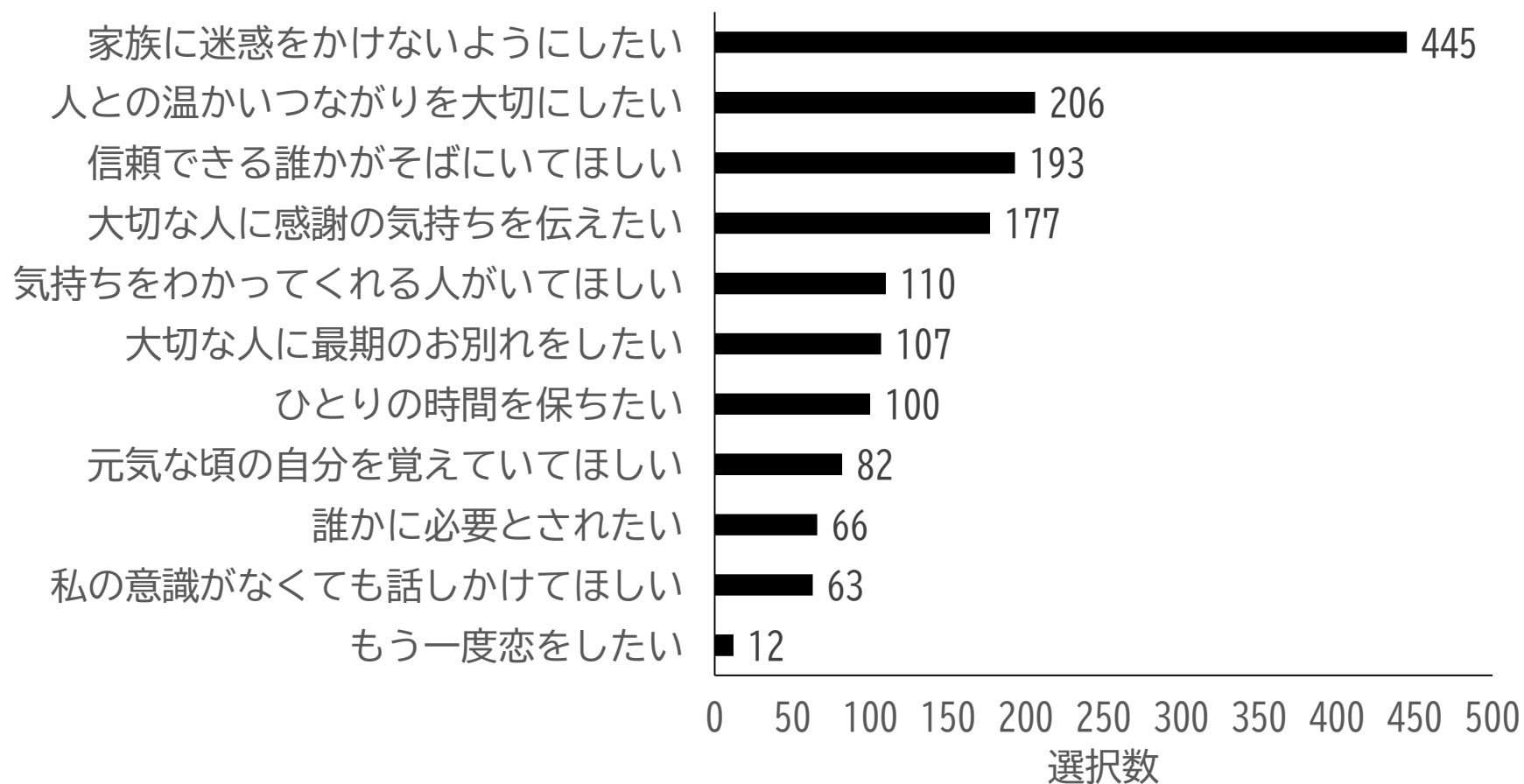
結果

● 領域ごとの終末期に優先される項目(生活やケア)



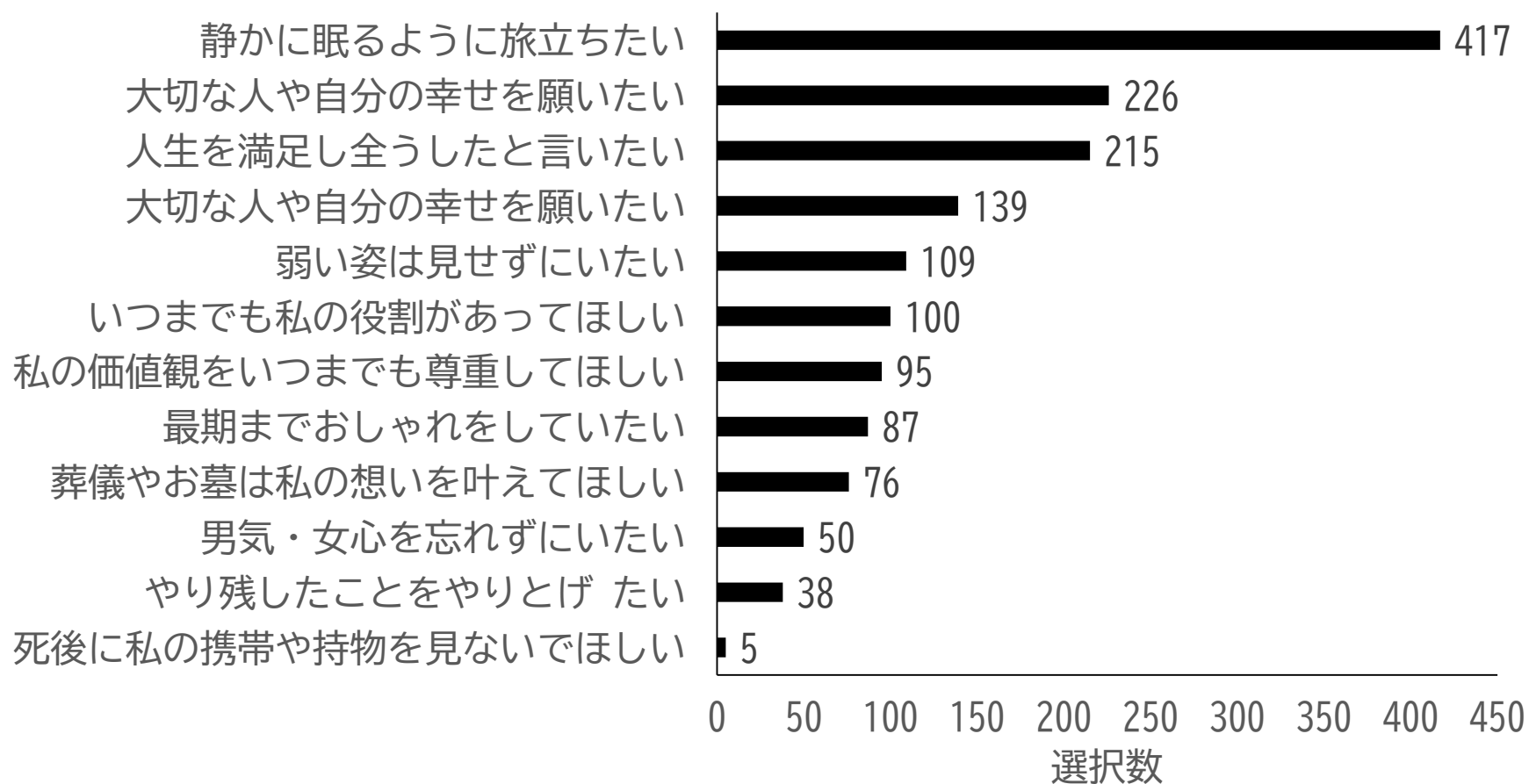
結果

● 領域ごとの終末期に優先される項目(人間関係)



結果

● 領域ごとの終末期に優先される項目(価値観)



まとめ

- ★日本は、東アジア特有の儒教と“孝”の影響を受けている
- ★2018年に厚生労働省が「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」を改訂し、ACPの愛称を“**人生会議**”として以降各学会のACPへのコンタクトも活発化した
- ★2022年に**日本版ACPの定義や行動指針**が策定された
- ★日本のACPは これからの発展が期待されているが
一般国民への認知度は低い
- ★実際のACPの話し合いへの障壁は “きっかけがない”こと
- ★ACPは 内容も多岐にわたる

まとめ

★ゲームは ACP導入へのハードルを下げ
多岐な内容を盛り込むことができるという点で
ACPへのきっかけとなる貴重なツールである可能性が高い

★日本人のACPにおいて、その選好は、
医療・人間関係・生活ケア・その他の価値観
の4分野に分かれる

★日本人のACPにおける選好4分野それぞれにおいて
医療分野では、医療結果重視型と医療思考過程型に
人間関係分野では、内向的と外向的に
生活ケア分野では、基本的な生活型と生活自由型に
その他の価値観では、現世堪能型と理想追求型に
分かれる